

New York Report

January 2017

CONTENTS

- * Project 1: World Trade Center Station Hub
- * Project 2: Brookfield Place

1.World Trade Center Station Hub

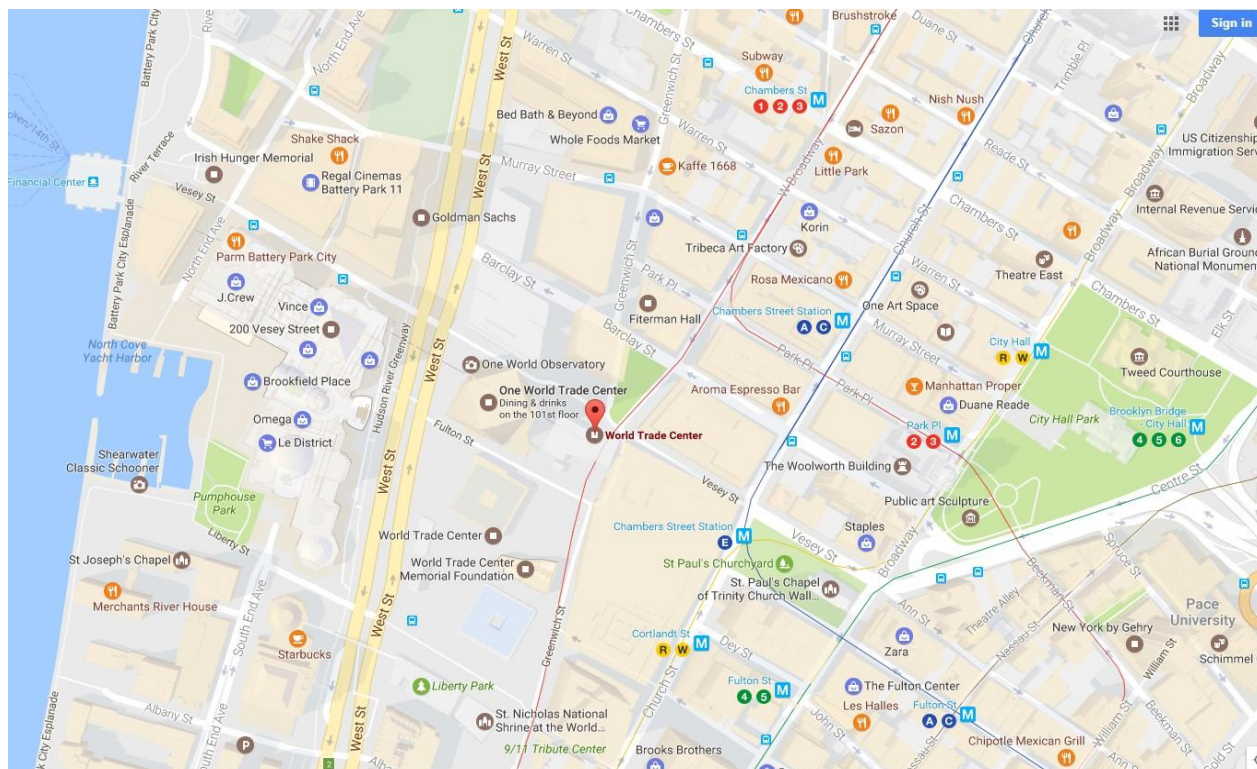
Project Overview

2001年に起こった同時多発テロ事件によって破壊されたツインタワー内にあったWorld Trade Center駅は、長らく改修工事のために閉鎖されていたが、昨年3月に12年の歳月をかけて完成し、一般に公開された。同駅は、隣のニュージャージー州をつなぐPATH TRAINやニューヨーク市内の主要地下鉄が乗り入れ、日々250万人の利用客があるマッシュブトランスポートエーションのハブとして、公開日と同時に利用も再開された。その駅のコンコースとして建てられたOculus（オキュラス）は、アテネオリンピックのスポーツコンプレックスや、ミルウォーキー美術館をデザインしたスペイン人建築家のSantiago Calatravaが手掛けた。同駅は、彼にとって7番目にデザインした駅となる。Santiago曰く「鳥が子供の手から羽ばたく様をイメージした」というOculusは、婉曲させたスチールビームが無数に連なるデザイン。内側に入ると、まるで巨大な動物のあばら骨のように見えるが、効果的で雰囲気のある採光と換気を狙ったデザイン。難易度の高い建築技術の駆使と、特殊で高価なマリアル使いで、最終的に総工費は40億ドルにも上ぼり、さまざまな物議を醸した。高額な費用に非難の声もあるが、交通の要衝としてだけでなく、ローワーマンハッタンの街づくりのハブとして、そのシンボルとなるようなデザインを目指したという。

Project Detail

1.Brand:	World Trade Center Station Hub
2.Type of Business:	Station
3.Open Date:	3/4/2016
4.Location:	70 Vesey Street, New York, NY 10007
5.Size:	800,000 Sq.
6.Architect:	Santiago Calatrava

Location Map





(ファサード)



(内部)



(内部・リテール部分)



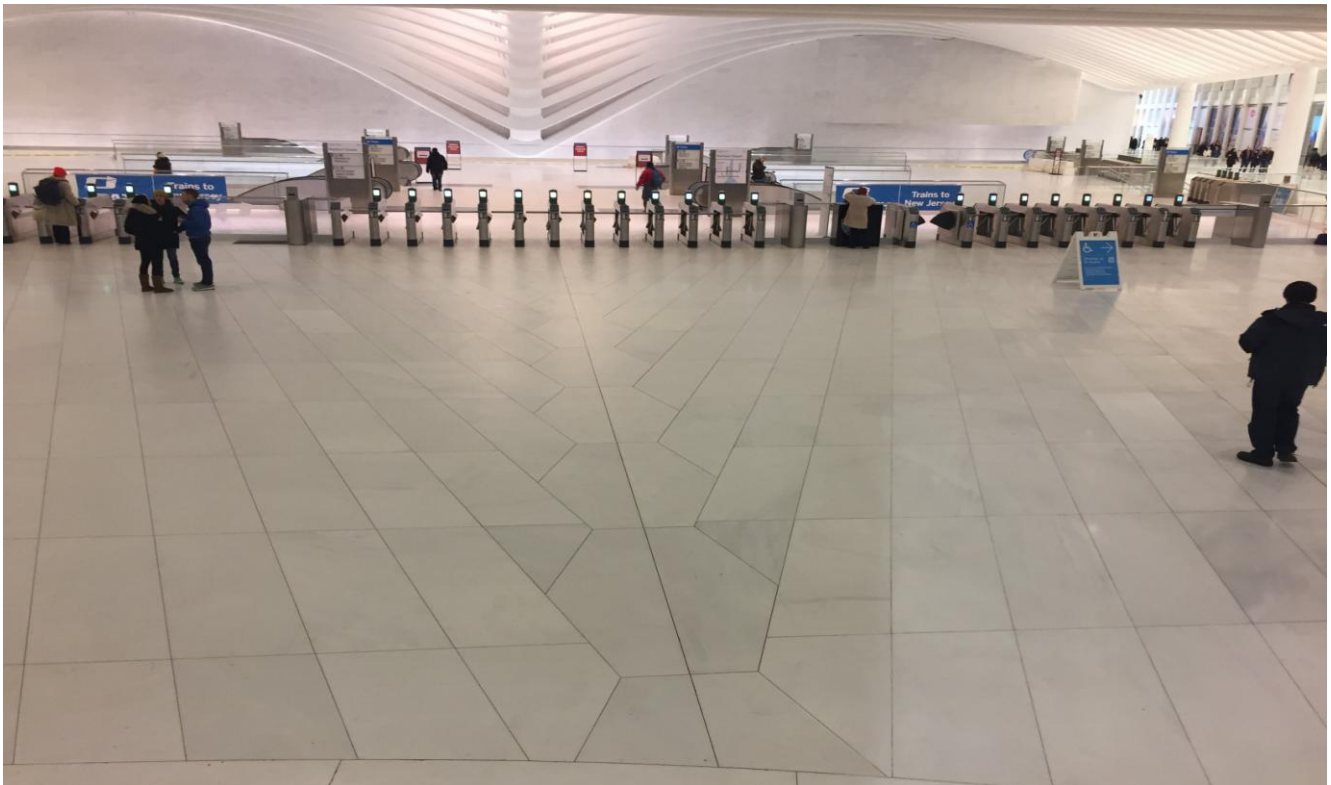
(内部)



(駅案内所)



(コンコース内のリテール)



(改札口)

2. Brookfield Place

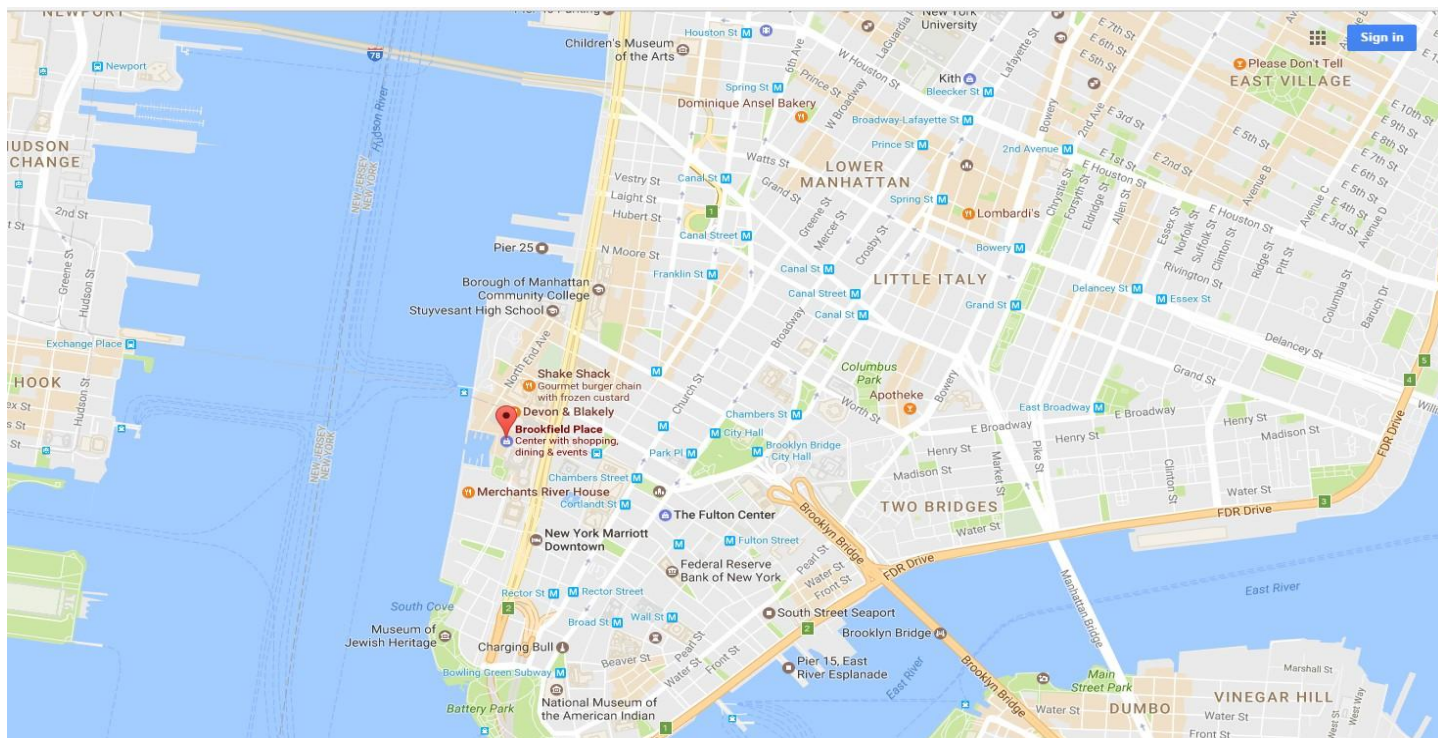
Project Overview

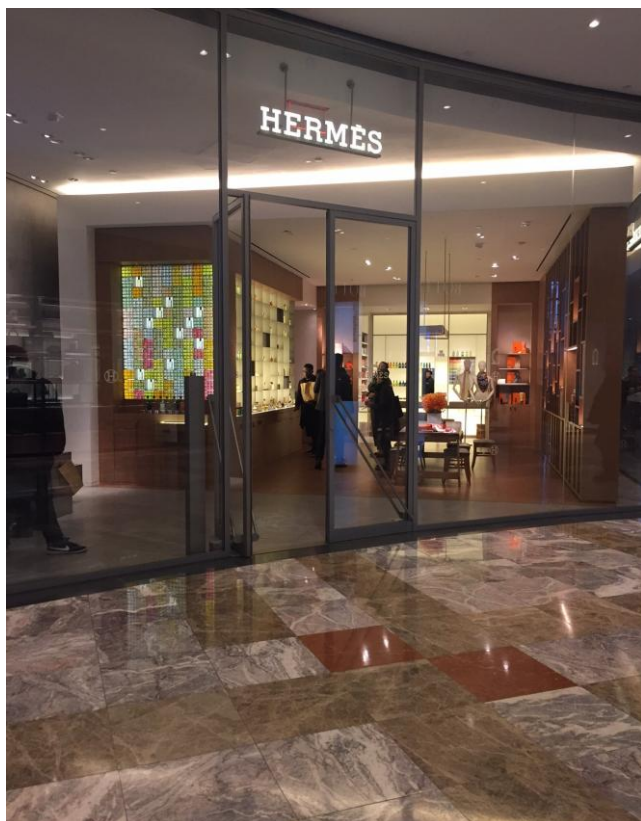
Oculusの最西端の出口は、元、World Financial Centerと呼ばれていたビルに連結している。アメリカンエクスプレスや野村證券など多くのファイナンシャル関連のオフィスが所在するコンプレックスだったが、倒壊は免れたものの2001の同時多発テロの被害を多く受けた。テロ後のローワーマンハッタン你再開発の中心的なコンプレックスとして、2014年にカナダのBrookfield 社が2億ドルで同施設を購入、1、2階部分を占めるリテール部分を中心に大規模なリノベーションを行って、老舗百貨店のSacks Fifth Avenueや、Hermes（世界初の香水のみの店）などの高級リテールを誘致したハイエンド・ショッピングモールとしてオープンした。フレンチフードをテーマにしたフードコートLe Districtやニューヨークの話題店を一同に集めたHudson Eatsなども併設されている。

Project Details

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1.Client / Brand / Developer: | Brookfield Place |
| 2.Type of Business : | Retail & Restaurant Complex |
| 3.Open Date: | 8/30/2015より順次OPEN |
| 4.Location: | 230 Vesey St, New York, NY 10281 |
| 5.Target Customer: | Family |

Location Map





(エルメスのショップ)



(内部)



(入口)



(エルメス店内部)



(エルメス内部)



(フードコート入口)



(フードコート内部)